

子どもたちへ

友だち同士で助け合って、毎日、学校生活を楽しく過ごさせていますか

あなたとクラスのことを点検してみましょう。

とてもそう思う…4 少しそう思う…3 あまりそう思わない…2 全くそう思わない…1

今のあなたは怎么样了か

- ① 学校は楽しい。 4-3-2-1
- ② クラスに仲のよい友達がいる。 4-3-2-1
- ③ 休み時間は友だちと遊んでいる。 4-3-2-1
- ④ クラスでは、ほっとでき、明るい気分になれる。 4-3-2-1
- ⑤ 悩みを相談できる先生がいる。 4-3-2-1
- ⑥ 先生は自分のことを見てくれている。 4-3-2-1
- ⑦ 将来の夢や希望がある。 4-3-2-1

あなたのクラスは怎么样了か

- ① 気軽に意見が言える。 4-3-2-1
- ② 仲のよいクラスだと思う。 4-3-2-1
- ③ 行事に盛り上がる。 4-3-2-1

“いじめに気づいている”あなたへ

- クラスで元気がない子はいませんか。
- クラスで一人になっている子はいませんか。
- ネット上で悪口を書かれている子はいませんか。
- いじめを見て見ぬふりをしていませんか。

“いじめられている”あなたへ

- つらいですね。
- あなたは悪くありません。
- あなたは、この世に1つしかない大切な存在です。

気になることがあれば、
すぐに先生やまわりの大人に相談しよう。
決してつげ口ではありません。

誰にも相談できない場合

相談窓口
に
電話しませんか。
(最後のページ)

“いじめをしている”あなたへ

- 何気ない言葉や行動が友だちの心を傷つけていませんか。
- 気に入らないからと言って、友だちにきつく当たっていませんか。
- メールやネットなどに遊びのつもりで書いた悪口で友だちを傷つけていませんか。
- 友だちを笑いのネタにしていませんか。

これらはすべて いじめ

いじめは決して許されないものです。
あなたも人の気持ちを考えられる人になろう。
一人ひとり大切な人、かけがえのない命です。

先生方へ

子どもたちは、学校で、
毎日、明るく元気に
過ごさせていますか

いじめを許さない子どもを育てよう!! (子どもの小さな変化に気づくことが大切)

※「伊丹市いじめ防止等のための基本的な方針」「学校いじめ防止基本方針」に基づいた対応を

いじめの防止

- お互いを思いやり認め合える学校・学級づくり
- 子どもたち一人ひとりが主体的に活動できる場面づくり
- 道徳心や規範意識を育て、いじめを許さない土壌づくり

いじめの早期発見

- 定期的なアンケート調査、校内相談窓口の設置等
- いじめ防止等に関する研修会の実施

いじめへの適切な対応

- いじめ対応チーム設置による組織的な対応
- 「伊丹市学校問題解決支援チーム」と連携した対応
- 必要に応じて、警察はじめ関係機関と連携した対応

子どもたちを支えるすべての皆さんへ

皆さんの周りには、子どもたちは、健やかに育っていますか

- 望ましい大人とのかかわりから、地域の子どもの規範意識が生まれます。
- 地域全体で学校の教育活動を支援し、子どもを守り育てる環境をつくりましょう。

地域での取組

- 地域ぐるみの声かけやあいさつ
- 地域のイベントやまつり等による多様な体験活動
- 世代間のふれあいや交流

いじめ発見のチェックポイント

- 下校時に友だちの荷物をたくさん持たされている。
- 子どもが必要もなくよく集まっている。(神社、寺、公園、コンビニ、大型量販店など)

“いじめかも”と思ったら、
学校に相談

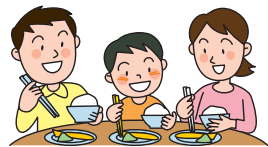
いじめを
しない
させない
ゆるさない

保護者の皆さんへ

子どもたちに変った様子はありませんか

- どの子どもも、いじめの被害者にも加害者にもなりえます。
- スマホ等を子どもに与える前に家庭で話し合い、使い方の約束を決めよう。
- 人間関係のトラブルを回避し、プレッシャーをはねのけられるように育つことも大切です。

自分のことを考えてくれる、見つめてくれる
親の気持ちは子どもの心に安心感を与えます。



家族のふれあい

- ① 食事は家族で一緒にとりましょう。
- ② 子どもの学校の話や友だちのことを話題にしましょう。
- ③ 子どもの将来のことを語り合しましょう。

保護者同士、学校、地域とのつながり

- ① 保護者同士のつながりを多くもちましょう。
- ② 学校行事等には積極的に参加しましょう。
- ③ 地域の活動を通じたつながりを積極的にもちましょう。

“いじめられているかも”チェックポイント

- 家に帰って元気がない(「ただいま」の声など)。
- 持ち物に落書きがある。 服が汚れている。
- 物をよくなくす。 食欲がない。
- 朝になると身体の不調をよく訴える。
- 弟、妹をいじめたり、親に反抗的である。
- 顔や背中、腕など、体にあざがある。

※ チェックがあれば

じっくり学校や
友人等の話を聞
きましょう。

原因が
分からない場合

学校の担任の
先生に相談しま
しょう。

解決にむけて

- 真の「心の居場所」となる家庭づくりに努めましょう。
・子どもが安らげる場にしましょう。
・子どもを温かく見守り、十分に目を配りましょう。
- 学校(先生、スクールカウンセラー等)に相談しましょう。
※学校に相談窓口があります。
- 関係機関に相談しましょう。

“いじめられているかも”チェックポイント

- 買ってもしないものを持っている。
- おこづかい以上のお金を使っている(持っている)。
- 言葉づかいが悪くなった。
- 反抗的な態度をとるようになった。

チェックが
あれば

チェックが
あれば

解決にむけて

- 子どもの小さなサインも見逃さず、しっかり寄り添い、子どもの心を開くように努めましょう。
- 相手も悪いという考えはいけません。
- 学校(先生、スクールカウンセラー等)に相談しましょう。

お金や物の管理につ
いて、しっかり子ども
と確認しましょう。
もし、友人からもらっ
ていた場合は、子ども
同士の金品のやりとり
をしてはいけない
ことを教えましょう。

言葉使いの変化や反
抗的な態度の原因に
ついて、しっかり話し
合しましょう。

かけがえのないわが子を守るために

- 子どもの気持ちを受け入れ、共感する。
- 「最後まで守りぬく」ことを伝える。
- 「いじめられる側にも理由がある」などの考えは絶対いけません。

